

令和3年度 盛岡市出資等法人 経営状況調査表

(令和3年4月1日現在)

1 法人の概要

法人名	公益財団法人盛岡市スポーツ協会	所管課	スポーツ推進課
所在地	〒020 - 0866 盛岡市本宮5-4-1 盛岡市総合アリーナ内		
電話番号	(019) 601 - 5700	設立年月日	平成24年 4月 1日
代表者	会長 長澤 茂 ☐ 常勤 ☒ 非常勤	☐ 市OB ☐ 市現職 ☒ その他	
設立目的	盛岡市における体育・スポーツの一層の振興を図ることにより、市民の体力の向上とスポーツ精神の涵養に資するとともに、盛岡市における体育・スポーツ諸団体の育成に寄与する。		
主要事業	① スポーツに対する意識の向上に関する事業 ② 市民の体力の向上を図る事業 ③ ジュニアスポーツの振興に関する事業 ④ 健康増進及び体育・スポーツ振興のためのスポーツ大会及びスポーツ教室に関する事業 ⑤ 施設の管理運営に関する事業 ⑥ その他この法人の目的を達成するための事業		

2 情報公開の状況

法人のホームページの有無	☒ ある (アドレス https://morioka-sport.or.jp/) ☐ 作成中・作成計画あり (公開予定時期 令和 年 月) ☐ 作成予定なし
法人ホームページでの情報の提供内容(作成中の法人においては提供予定内容)	☒ 事業内容 ☒ 財務状況 ☒ 役員氏名 ☒ その他(スポーツ少年団、スポーツ教室、施設情報等)
ホームページ以外での情報提供の方法	・盛岡市情報公開室への資料設置 ・「公益財団法人盛岡市スポーツ協会の保有する情報の公開に関する規程」に基づく情報公開 ・指定管理施設窓口や掲示板、インターネットによる施設予約状況の案内

3 職員構成

(単位:人)

			常勤			非常勤	合計
				うち市OB	うち市派遣		
役員	理事		2	2	0	14	16
	監事		0	0	0	3	3
	計		2	2	0	17	19
職員	管理職	正職員	7	0	0	0	9
		臨時職員	2	—	—		
	一般職	正職員	17	0	0	0	59
		臨時職員	42	—	—		
	計	正職員	24	0	0	0	68
		臨時職員	44	—	—		
前年度と比較して職員数の増減			増 3	減 0	常勤職員の平均年齢		45.9 歳
常勤職員の給与体系							
☐ 法人独自の給与体系			☒ 市の給与体系を準用			☐ その他()	

4 財政状況等

資本金 (基本財産)	101,194 千円	本市出資等額	58,000 千円	本市出資等割合	57.3 %
主な出資等者					
① 盛岡市	(出資等割合 57.3 %)				
② 加盟団体	(出資等割合 7.9 %)				
③ 一般企業等	(出資等割合 15.9 %)				
④ その他(協会自助努力)	(出資等割合 18.9 %)				
令和3年度における当市の財的関与の状況	補助金	34,684 千円	(収入全体の	5.2 %)	
	負担金・交付金	2,124 千円	(収入全体の	0.3 %)	
	委託料	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
	指定管理料	384,158 千円	(収入全体の	57.6 %)	
	貸付金	0 千円	(収入全体の	0.0 %)	
補助金内訳					
① 事業費補助金		(令和3年度予算額	34,684	千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
負担金・交付金内訳					
① 市民体育大会開催負担金		(令和3年度予算額	2,124	千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
委託料内訳					
①		(令和3年度予算額		千円)	
②		(令和3年度予算額		千円)	
指定管理料内訳					
① 盛岡市総合アリーナ、盛岡市立総合プール、盛岡市都南中央公園プール及び盛岡市アイスリンク		(令和3年度予算額	231,083	千円)	
② 盛岡体育館、盛岡市太田橋野球場及び盛岡市営野球場		(令和3年度予算額	30,194	千円)	
③ 盛岡市立武道館及び盛岡市弓道場		(令和3年度予算額	24,743	千円)	
④ 盛岡南公園球技場		(令和3年度予算額	43,784	千円)	
⑤ 盛岡市立太田テニスコート		(令和3年度予算額	6,829	千円)	
⑥ 盛岡市立綱取スポーツセンター		(令和3年度予算額	12,859	千円)	
⑦ 盛岡市渋民運動公園、盛岡市立玉山運動場及び盛岡市立生田スキー場		(令和3年度予算額	34,666	千円)	
貸付目的		(貸付金がある場合記入)	利用料金対象施設		
			(利用料金制を採用している施設がある場合記入)		
		盛岡市総合アリーナ、盛岡市立総合プール、盛岡市都南中央公園プール、盛岡市アイスリンク、盛岡体育館、盛岡市太田橋野球場、盛岡市営野球場、盛岡市立武道館、盛岡市弓道場、盛岡南公園球技場、盛岡市立太田テニスコート、盛岡市立綱取スポーツセンター、盛岡市渋民運動公園、盛岡市立玉山運動場、盛岡市立生田スキー場			
		利用料金収入(令和3年度予算額) 174,933 千円			
		法人の収入全体の 26.2 %			

5 指定管理者となっている公の施設(現在、公の施設の指定管理者となっている団体のみ記入)

施設の名称	盛岡市総合アリーナ、盛岡市立総合プール、盛岡市都南中央公園プール、盛岡市アイスリンク、盛岡体育館、盛岡市太田橋野球場、盛岡市営野球場、盛岡市立武道館、盛岡市弓道場、盛岡南公園球技場、盛岡市立太田テニスコート、盛岡市立綱取スポーツセンター、盛岡市市民運動公園、盛岡市立玉山運動場、盛岡市立生田スキー場
-------	---

6 法人の経営内容の詳細

(1) 取組目標

指標名	単位		平成30年度	令和元年度	令和2年度
①施設利用者数	人	計画	1,050,700	969,000	997,000
		実績	994,411	975,527	515,293
②自主事業参加者数	人	計画	82,200	68,000	45,000
		実績	57,405	59,288	28,762
③収入	円	計画	649,405,000	661,347,000	636,543,000
		実績	646,258,490	659,554,103	591,641,877
④		計画			
		実績			

- ※ 1 中長期計画等を策定している場合、計画に盛込まれている目標等を記載してください。
- 2 中長期計画等を策定していない法人で、毎年度の目標等を設定している場合は、その目標等を記載してください。
- 3 毎年度の目標等を設定していない場合は、法人の活動が具体的に数値として表れるものを記載してください。

(2) 経営状況

※複数の会計を持つ法人は、合算して記載すること。

(単位:千円, %, 人)

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収支の状況	総収入	737,119	737,871	638,807
	当期収入(A)	651,182	669,747	591,638
	基本財産運用収入	1,441	1,441	1,441
	会費収入(入会金収入を含む)	0	0	0
	補助金等収入	36,303	38,058	36,036
	うち市からの補助金等(B)	36,238	37,996	35,761
	事業収入(C)	604,258	615,772	552,021
	うち自主事業収入	45,110	43,919	24,638
	うち市からの委託料(D)	0	0	0
	うち市からの指定管理料(E)	366,080	393,316	416,274
	スポーツ少年団事業収入	2,741	2,585	2,223
	スポーツ人の集い開催事業収入	1,302	1,204	0
	施設利用料収入	173,314	166,224	104,421
	自動販売機設置手数料収入	7,006	0	0
	広告料収入	910	916	716
	その他事業収入	7,795	7,608	3,749
	繰入金収入	0	0	0
	投資活動収入	2,360	4,556	0
	財務活動収入	2,568	5,640	0
	市からの借入金	0	0	0
	その他の収入	4,252	4,280	2,140
	前期繰越額	85,937	68,124	47,169

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
収支の状況	総支出	668,995	690,702	592,361
	当期支出	668,995	690,702	592,361
	人件費	256,986	276,453	257,574
	事業費(人件費除く)	376,391	393,943	322,572
	管理費(人件費除く)	4,807	6,520	5,201
	資産取得支出	20,466	7,981	1,220
	財務活動支出	7,503	5,733	5,664
	繰入金支出	0	0	0
	その他の支出	2,842	72	130
	当期収支差額	▲ 17,813	▲ 20,955	▲ 723
	次期繰越収支差額	68,124	47,169	46,446
正味財産 の 状況	経常収益(F)	646,258	659,554	591,641
	経常費用	638,185	676,917	585,348
	当期経常増減額	8,073	▲ 17,363	6,293
	経常外収益	0	0	0
	経常外損益	0	0	0
	当期経常外増減額	0	0	0
財産の状況	資産(G)	344,318	313,205	304,786
	うち固定資産	148,588	136,409	127,441
	うち流動資産(H)	195,730	176,796	177,345
	負債	114,838	101,161	86,579
	うち固定負債	14,201	14,097	8,433
	うち流動負債(I)	100,637	87,064	78,146
	正味財産(J)	229,480	212,044	218,206
	うち当期正味財産増減額	5,230	▲ 17,435	6,162
財務指標	流動比率(H/I)	194.4	203.0	226.9
	自己資本比率(J/G)	66.6	67.7	71.5
	職員一人当たり収益高(F/(K+ 当期収入に占める市補助金等の割合(B/A)	6,039.8	6,281.5	6,037.2
	事業収入に占める市委託料、指定管理料の割合((D+E)/C)	5.5	5.6	6.0
		60.5	63.8	75.4
組織の状況	常勤役員数(K)	2	2	2
	うち本市OB	2	2	2
	うち本市派遣職員	0	0	0
	職員総数(L)	105	103	96
	うち常勤職員数	65	65	68
	うち本市OB	2	1	1
	うち本市派遣職員	0	0	0
	うち管理職員数	9	8	9
	常勤役員比率(常勤役員数/総役員数)	0.1	0.1	0.1
	管理職員比率	8.6	7.8	9.4
	職員新規採用数	5	5	9
	うち常勤職員数	5	5	9

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業指標	① 施設利用者数	994,411	975,527	515,293
	② スポーツ教室参加者数	57,405	59,288	28,762
	③ 市民体育大会参加者数	26,673	27,563	開催中止
	④ スポーツ少年団登録者数	3,184	2,980	2,854
本市の財政的関与等の状況	補助金額	36,238	37,996	35,761
	① 運営補助金	34,597	34,597	34,597
	② 事業費補助金	647	647	647
	③ 選手派遣事業費補助金	522	624	45
	④ スポーツ少年団育成補助金	472	472	472
	⑤ 自主事業減収補填事業補助金	0	1,656	0
	負担金・交付金額	2,124	2,124	0
	① 市民体育大会開催負担金	2,124	2,124	0
	②			
	委託金額	0	0	0
	①			
	②			
	上記のうち再委託額			
	上記業務の委託契約方法			
	指定管理料	366,080	393,316	416,274
	①			
	②			
	③			
	貸付金額			
	損失補償額			
	債務保証額			

令和2年度決算の概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症及び総合プールの大規模改修工事の影響を大きく受け、予定していた事業やイベントの多くが開催中止や規模縮小を余儀なくされ、経常収益は想定を大きく上回る減収となった。

一方、費用面においては、事業の開催中止や規模縮小、来館者数の大幅な減少等が影響し、ランニングコストや事業にかかる経費が多くの科目において縮減された。総合プールのおよそ8カ月にわたる大規模改修工事も、光熱水料費や燃料費等の大幅な削減の主な要因となった。

最終的には、指定管理料の増額による減収補填がなされたことと、時間外勤務の削減等による人件費の抑制に努めた結果、当初予算においては赤字見込んだものの、6,292千円の黒字となった。

7 所管課による財務状況についての点検評価結果

B	A:良好, B:概ね良好, C:改善を要する, D:大いに改善を要する
(コメント) 令和元年度は固定費や減価償却費の増により支出が増えたことと、新型コロナウイルス感染症により施設の利用制限の影響を受けたことなど収入へのマイナス影響が大きかったことなどから赤字となったものの、令和2年度は催事等の積極誘致や経費の縮減に向けた工夫を行い黒字となったほか、累積欠損金もないことから、B評価とするもの。	

※参考(別紙フローチャートによるチェック)

番号	質問	チェック欄	
		はい	いいえ
1	令和元年度決算において黒字である。		○
2	令和2年度決算において黒字である。	○	
3	累積欠損金がある。		○
4	令和2年度決算において減価償却前黒字である。		
5	事業計画どおりの償却前赤字である。		
6	概ね3年以内に単年度黒字可能である。		
7	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%未満である。		
8	累積欠損金があるが、対自己資本比率は50%～100%である。		
9	累積欠損金があるが、対自己資本比率は100%超である。		

※「累積欠損金」→「正味財産の部合計」